

グローバル政治論 Global Governance from the Political Perspective	
科目提供大学名	関西学院大学
担当教員	赤星 聖（法学部政治学科助教）
単位数	2単位
最大授業定員	54名
開講学期	前期4時限（17:50～19:20） 木曜日（4月12日～7月19日、5月3日（憲法記念日）は授業実施）
成績評価	①予習状況・授業への積極的な貢献などの平常点（70%） ②最終レポート（30%） ※ 詳細な成績評価方法は、初回授業時に説明します。
テキスト	特になし。授業中にハンドアウトを配布します。
参考文献	特になし。授業中に適宜提示します。
授業以外の学習方法	①国際ニュース(新聞やインターネット)に日常的に触れるようにしてください。 ②講読文献を提示した場合には、講義までに読み、内容を簡潔にまとめてきてください。
その他の特記事項	詳細なシラバスを初回授業時に配布しますので、必ず参加してください。
講義概要	国際／国内紛争、核兵器の問題、難民・避難民問題、テロリズムなど、現在のグローバル社会には様々な課題があり、従来の国家間協力だけでは対応できないものも数多く存在します。本講義では、国際政治論をベースとしつつも、近年の動向も踏まえて、NGOや企業がどのようにグローバル社会に関与しつつあるのか、またその中で効率性や正統性をどのように追及しているのかなどについて、具体的な事例を取り上げながら検討します。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに — グローバル・ガバナンスとは何か 2. グローバル・ガバナンスの歴史的展開 3. グローバル・ガバナンスの理論①：伝統的な国際政治論 4. グローバル・ガバナンスの理論②：批判的な国際政治論 5. グローバル・ガバナンスにおけるパワーと権威 6. グローバル・ガバナンスにおけるアクター①：総論 7. グローバル・ガバナンスにおけるアクター②：国際機構と国際制度 8. グローバル・ガバナンスにおけるアクター③：NGOと企業 9. グローバル・ガバナンスにおけるアクター④：ネットワーク 10. グローバル・ガバナンスにおける説明責任、正統性、効率性 11. グローバル・ガバナンスと安全保障 12. グローバル・ガバナンスと人権・健康 13. グローバル・ガバナンスと環境 14. グローバル・ガバナンスと人道支援 15. まとめ — グローバル・ガバナンス再考